

市町村名	石垣市
<b>沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【後年度発現事業】</b>	

事業名	石垣市内文化財環境整備事業			沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第3章-1-(6)-ア 沖縄らしい風景づくり
担当部課名	教育部	文化財課	事業実施 年度	平成 27 ~ 令和 3 年度	沖縄振興基本方針 該当箇所
	Ⅲ-1-(1)				

**事業内容**  
市内にある重要文化財等を保全し、観光資源としても活用するため、指定文化財等の周辺環境を整備し、本市の歴史や文化の魅力を発信する。

**実施方法**  
 直接実施   
 委託   
 補助   
 負担   
 その他( )

事業期間中の 予算額・執行額 【単位:千円】		H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	合計
	A. 予算現額		1,024	660	420	443
B. 執行済額		922	475	420	429	2,246
うち 交付金充当額		737	379	335	343	1,794
執行率(%) (B/A)		90.0%	72.0%	100.0%	96.8%	88.2%
執行状況の説明	概ね事業計画どおり執行した。					

事業期間中の 活動目標	活動目標(指標)	達成状況				
		H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度
文化財説明板設置 5箇所	目標			実施	5箇所	5箇所
	実績			実施	6箇所	5箇所
庭園でのヤブガラシ根絶研究1地点	目標		1地点			
	実績		0地点			
御嶽等の選定(枝打ち)作業1カ所	目標		1カ所			
	実績		3カ所			
用地取得 2筆	目標	2筆				
	実績	2筆				

市町村名 **石垣市**

**沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【後年度発現事業】**

事業期間中の 成果目標	成果目標(指標)	進捗状況				
		H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度
文化財説明板設置完了	目標			完了	完了	完了
	実績			完了	完了	完了
指定文化財(庭園)内の植生回復と環境維持対応の完了	目標		完了			
	実績		完了			
減災を目的とした適正な文化財の管理の完了	目標		完了	完了		
	実績		完了	完了		
用地取得 2筆完了	目標	2筆				
	実績	2筆				

**事業完了後の取り組み**

事業完了後の 成果目標	成果目標(指標) <input type="checkbox"/> 中期にわたる事業効果 <input checked="" type="checkbox"/> 後年度に発現する事業効果	達成/進捗状況				
		H30年度	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度 目標/発現年度
地元のエコツーリズム協会が整備完了後の文化財を活用して行う史跡めぐりの実施(年12回以上開催)	目標				12回	12回
	実績				12回	12回
状況説明	・整備完了後の文化財を活用して行うツアー等は、文化財めぐりやエコツーリズムといったこれまでの見学者層に加え、多様な諸団体(伝統芸能関係者や地域の老人会など)の利用も増え、活用機会が増加している。					

【完了後】事業効果等の確認 (施設利用状況、効果発現状況、外部環境の変化等)	【完了後】改善措置等の検討 (事業効果の更なる向上等)
---	--------------------------------

<p>・所在地や進入路が分かりづらいと指摘されていた文化財について、多言語併記の案内板や説明板を設置したことにより周知や誘導が図られ、より多くの見学者が現場を訪れて当該文化財の価値や魅力に触れることができる環境を作ることができた。</p> <p>・減災を目的とした危険木の除去により、台風接近時の文化財への被害を未然に防ぐとともに、見学者がより安全に当該文化財について学ぶ環境を整備することができた。</p>	<p>・当該文化財に関する最新の研究成果や関連する話題等について、現場に設置した説明板に掲載される情報量では紹介することが困難であることから、QRコードやホームページ等を用いて、情報をより深く発信するための方策を検討していく必要がある。</p> <p>・枯損木や越境枝等あらたな危険性の高い樹木の発現に常時留意し、適切に管理していく必要がある。</p>
--	--

**今後の取り組み方針(関連・同種事業へのフィードバック等)**

・文化財が持つ観光資源としての側面をより積極的に活用していくため、現場に設置した説明板に加え、QRコードやホームページなどの先進技術や媒体を併用して、当該文化財に関する最新の研究成果や関連する話題などの情報を発信し、見学者が本市の魅力をより重層的に理解することができる方策を検討していく。

・文化財の魅力を損なうことがないよう美化や植栽管理を適切に行うとともに、台風接近時の被害を最小限に抑えられるよう、危険木の早期発見など樹木の適正管理に取り組んでいく。

市町村名		石垣市					
沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【後年度発現事業】							
事業名	平久保半島エコロード整備事業				沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(2)-ア 国際的な沖縄観光ブランドの確立	
担当部課名	建設部	都市建設課	事業実施年度	平成25 ~ 令和3年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ-1-(1)	
事業内容	国立公園区域に指定された区域である平久保半島の自然をスポーツツーリズムの資源として活用するため、豊かな自然景観、自然環境に配慮した環境共生型(エコロード)の道路整備を行う。						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他( )						
事業期間中の 予算額・執行額 【単位:千円】		H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	合計	
	A. 予算現額	651	10,000	23,000	121,090	154,741	
	B. 執行済額	651	9,960	22,990	120,708	154,309	
	うち 交付金充当額	520	7,968	18,392	96,565	123,445	
	執行率(%) (B/A)	100.0%	99.6%	100.0%	99.7%	99.7%	
執行状況の説明	事業計画どおり執行した。						
事業期間中の 活動目標	活動目標(指標)		達成状況				
			H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
	測量設計の実施	目標			実施		
		実績			実施		
	道路整備工事の実施	目標	実施	実施	実施		
		実績	実施	実施	実施		
	目標						
	実績						
事業期間中の 成果目標	成果目標(指標)		進捗状況				
			H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
	測量設計の完了	目標			完了		
		実績			完了		
	道路整備工事の完了	目標	1件	1件	完了		
		実績	1件	1件	完了		
エコロードを活用して行われる「石垣島オーシャンビュートレイルラン&ウォーク大会」への参加者数810人以上	目標			810人			
	実績			-			

市町村名	石垣市
<b>沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【後年度発現事業】</b>	

**事業完了後の取り組み**

	成果目標(指標) □ 中期にわたる事業効果 ■ 後年度に発現する事業効果	達成/進捗状況					
		R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R3年度 目標/発現年度	
<b>事業完了後の成果目標</b>	エコロードを活用して行われる「石垣島オーシャンビュートレイルラン&ウォーク大会」への参加者数810人以上	目標	810人	810人			810人
		実績	-	-			
	目標						
	実績						
<b>状況説明</b>	<p>【R3年度】 ・本事業で整備したエコロードについては、スポーツイベントを通して検証していくこととしていたが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響及び同感染症拡大防止のための自粛等も重なり、予定していたイベントの実施には至っていない。 一方、整備後に公表したPR動画の閲覧者数1,350人うち、810人(6割)がエコロードを利用すると仮定した場合、令和4年3月31日現在の閲覧者数が1,566人となり、その6割が940人の結果とであることから、目標値を上回るようになったものと思料できる。</p> <p>【R4年度】 ・本事業で整備したエコロードについては、スポーツイベントを通して検証していくこととしていたが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響及び同感染症拡大防止のための自粛等も重なり、令和4年度も予定していたイベントの実施には至っていない。</p>						

【完了後】事業効果等の確認 (施設利用状況、効果発現状況、外部環境の変化等)	【完了後】改善措置等の検討 (事業効果の更なる向上等)
<p>【R3年度】 ・エコロードについては、スポーツイベントの実施には至っていないが、公式ホームページやSNS等を通じた周知もあり、整備後のエコロードの利用者は増加している。周知後は当地へのアクセスについての問い合わせもあることから新型コロナウイルス感染症拡大が終息したのちには、当地の利活用について取り組む必要がある。</p> <p>【R4年度】 ・R3年度に引き続き、当地への問い合わせがあること、新型コロナウイルス感染症に対する自粛が緩和され観光客が増加している現状があることから、当地の利活用の検討を推し進めていく必要がある。</p>	<p>【R3年度】 ・今後は、整備したエコロードへのアクセスについてのマップを作成し公表するとともに、スポーツイベントを始めとする利活用の向上に向けて検討を進める必要がある。</p> <p>【R4年度】 ・R3年度に引き続き利活用の向上に向けて検討を進める必要がある。</p>

**今後の取り組み方針(関連・同種事業へのフィードバック等)**

<p>【R3年度】 ・市民や観光客等に当該地までのアクセス周知を図るため、市公式ホームページやSNS等を活用し、情報発信を行うとともに、エコロードの更なる利活用について、利用者が休憩の出来る憩いの場として東屋の整備、歴史的な道であるヤッサクイツや安良村跡等の文化資源を繋ぐ遊歩道や散策路の整備、平久保半島地域における資源の名称や位置、優れた景観スポット、現在地等が表示された案内板・ガイドマップの設置、動植物資源や歴史・文化資源を活用したツアーメニュー、牧場を活かしたツアーメニュー、自転車(マウンテンバイク)乗馬で巡るツアーメニュー、良好な海岸・海域環境を活用したツアーメニュー、地域資源を活用したイベント等の企画・運営の検討に取り組むこととする。</p> <p>【R4年度】 ・R3年度に引き続き情報発信を行うとともに、各種ツアーメニュー、地域活用したイベント等の企画、運営の検討に取り組むこととする。</p>
---

市町村名		石垣市					
沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【後年度発現事業】							
事業名	島野菜・ハーブの生産、加工、販売推進事業				沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第3章-3-(7)-ア おきなわブランドの確立と 生産供給体制の整備	
担当部署名	農林水産部	農政経済課	事業実施 年度	平成 28	~ 平成 29	年度 沖縄振興基本方針 該当箇所	
事業内容	島由来の野菜やハーブの安定的な生産を推進し、新規加工商品の開発や販路拡大に向けた環境整備と体制の構築を目指すため、生産農家、流通業者、加工事業者等関係機関と協働し、方向性及び取り組み内容を盛り込んだ振興プランを策定する。						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他( )						
事業期間中の 予算額・ 執行額 【単位:千円】		H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	合計	
	A. 予算現額	9,504	7,722			17,226	
	B. 執行済額	9,504	7,720			17,224	
	うち 交付金充当額	7,603	6,176			13,779	
	執行率(%) (B/A)	100.0%	100.0%			100.0%	
執行状況の説明	<ul style="list-style-type: none"> <li>・H28年度は対象農家からの情報収集の日程調整に時間を要したため、翌年度に繰り越した。</li> <li>・H29年度は石垣市島野菜・ハーブ振興プラン(仮称)策定協議会において出された検討材料の充実が必要との意見を踏まえ、開催スケジュールの見直しを行ったため、翌年度に繰り越した。</li> <li>・各年度とも繰越後は事業計画どおり執行した。</li> </ul>						
事業期間中の 活動目標	活動目標(指標)	達成状況					
		H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	
	生産状況及び流通経路調査の実施	目標	実施				
		実績	実施				
	島野菜・ハーブの生産、加工、販売振興プラン策定業務委託の実施	目標		実施			
実績			実施				
事業期間中の 成果目標	成果目標(指標)	進捗状況					
		H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	
	生産状況及び流通経路調査の完了	目標	完了				
		実績	完了				
	島野菜・ハーブの生産、加工、販売振興プランの策定完了	目標		完了			
実績			完了				

## 事業完了後の取り組み

	成果目標(指標) □ 中期にわたる事業効果 ■ 後年度に発現する事業効果	達成/進捗状況					
			H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度 目標/発現年度
	野菜・ハーブの生産者戸数84戸	目標	77戸	79戸	80戸	83戸	84戸
		実績	47戸	61戸	70戸	120戸	236戸
事業完了後の成果目標 状況説明	【H30年度】 ・事業効果を計るための指標は、平成28年度時点における野菜・ハーブの生産者戸数70戸から20%増の84戸であり、平成30年度から令和4年度までの5か年をかけて14戸の増を目標としている。 14戸に対する各年度の目標値は、平成30年度50%増(7戸増)、令和元年度65%増(9戸増)、令和2年度75%増(10戸増)、令和3年度95%増(13戸増)、令和4年度100%増(14戸増)としている。 これに対し、平成30年度実績は47戸と目標値を下回る結果となっている。						
	【R1年度】 ・ハーブの生産者数は前年度(平成30年度)と比べ29%増の61戸となっており、今後、同水準で伸び続ければ目標達成年度までには目標としている84戸を達成することができる。 ・命草利活用講習会と題し、7回の講座を行い約40名の受講者にハーブのレシピ等を紹介し、ハーブの活用方法を伝えた。						
	【R2年度】 ・生産者の推移は、前年度(令和元年度)と比べ15%増の70戸となった。増加率は、昨年度から減少したものの、生産者は一定程度増加しており、10%程度の増を維持することができれば、84戸を達成することができると考えられる。生産者の増に繋げる取組みのひとつとして、島野菜やハーブの認知度向上、販路拡大、生産拡大を図るため、販売会を13回実施した。販売会では、大手スーパーでは取扱いの少ない島野菜やハーブを販売するとともに生産者の紹介などに取り組んだ。						
	【R3年度】 ・生産者の個数は前年度を大幅に超え120戸となった。ハーブの利用可能性の周知が図られ生産農家の増に繋がったものと思われる。ハーブの利用啓発を図ることを目的にリーフレット作成に取り組んだ。この企画にはJAおきなわ女性部と八重山農林高校が参加し、ハーブを使用した地産地消お弁当をつくりハーブの利用可能性を広報することができた。						
	【R4年度】 ・生産者の戸数は順調な伸びとなり236戸となった。石垣島野菜・ハーブ振興対策事業を実施し、市場拡大の可能性のあるピパーツの実態調査を行い、産業化や生産振興に必要な課題を洗い出した。同事業では他にも、ピパーツの利用及び生産拡大に向けて、商品開発や5,000株の苗の無償配布を行い、生産振興に向けた取組を行った。						

【完了後】事業効果等の確認 (施設利用状況、効果発現状況、外部環境の変化等)	【完了後】改善措置等の検討 (事業効果の更なる向上等)
<p>【H30年度】 ・生産者戸数が低調となっている要因については、市内需要量、連作障害、地力低下等による生産性の低下などの課題があると思われる。</p> <p>【R1年度】 ・生産者数は伸びているが、消費が島内だけであるため生産量の頭打ちが懸念される。 ・生産者の増加と共に消費者の開拓を行い、農家所得の増加を図ることが今後の大きな課題となる。</p> <p>【R2年度】 ・販売会では、生産者が直接市民等へ島野菜やハーブの販売や情報発信を行ったことで、来場したお客様に対して、より信頼を獲得することに繋げることができたと考えられる。今後も販売会を継続していくことで、認知度向上、販路拡大、そして生産拡大に期待できるが、継続していくにあたっては、安定的に場所や人員を確保していくことに課題がある。</p> <p>【R3年度】 ・効果の確認については、リーフレット等を活用することによって認知度向上、料理への利用方法の周知に繋がれたものと考えられる。</p> <p>【R4年度】 ・苗の無償配布を行うことにより、ピパーツがより身近なものになり、それをきっかけにハーブ・島野菜の増産、利用拡大に繋がったものと考えられる。</p>	<p>【H30年度】 ・島野菜やハーブの需要規模の拡大を図るため、各主体間の情報交流、相互理解の仕組みづくりに努めるとともに、6次産業化への展開を図るなど、島野菜・ハーブの認知度向上、魅力発信に取り組む必要がある。 また、生産基盤等の強化のため、より関係機関との連携を図る必要がある。</p> <p>【R1年度】 ・島野菜・ハーブの品質向上、生産基盤の強化、流通コスト軽減の方法を検討する。 ・島野菜・ハーブの認知度向上のためのイベントや情報発信方法の検討を行う。</p> <p>【R2年度】 ・島野菜やハーブの販売会は、高い評価であったことから、新たな販売ツールのひとつとして、確立していく必要がある。引き続き、生産者情報や料理方法等の情報発信についての検討を行う。</p> <p>【R3年度】 ・料理方法の情報発信はリーフレットを作成すること等で達成できることが分かった。今後は消費者がどのようなハーブを求めているのか等を調べ石垣島にあったハーブの検討を行う必要がある。</p> <p>【R4年度】 ・実態調査の結果、産業化には消費者の利用拡大のために、加工施設の導入が必要である。今後は、生産拡大への取り組みや、加工施設導入に向けて検討を行う。</p>

## 今後の取り組み方針(関連・同種事業へのフィードバック等)

<p>【H30年度】 ・JA沖縄八重山支野菜生産部会、JAファーマーズマーケットやえま生産者会など関係機関と連携し、島野菜・ハーブ料理講習会の実践、ハーブ等を利活用した健康をテーマにするウェルネス事業などへの展開を図ることで、島野菜・ハーブのネームバリューの向上、地域経済規模の拡大に取り組む。 また、島野菜・ハーブ農業向けハウスの導入支援など、生産基盤等の整備を検討する。</p> <p>【R1年度】 ・生産の拡大に向け販売を行う事業者からも販路拡大への意見を聞きとりを行い新し消費者の開拓を行う。 ・島野菜・ハーブの認知度向上の為、生産者から発信する料理等への活用方法について、販売者と一緒に広報を行っていく。</p> <p>【R2年度】 ・島野菜やハーブの希少価値や生産者などについて、引き続き、情報発信を行い、ブランド力の向上に取り組んでいくこととする。併せて、生産者における生産技術や生産量の安定化を図るため、必要な支援策等の検討を行っていく。</p> <p>【R3年度】 ・ハーブの利用方法等について、引き続き情報発信を行い知名度向上に取り組んでいく。併せて、消費者が求めているハーブについて情報収集を行い生産農家との情報共有をできる体制づくりを検討していくこととする。</p> <p>【R4年度】 ・ピパーツについて、市場に参入するために必要な量を生産できるように生産拡大に向けた取組を行う。また、島野菜についても、食材として普及に向けたレシピ開発や料理講習会の開催を行い、島野菜の生産振興に向けた取組を検討していく。</p>
--

市町村名	石垣市						
沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【後年度発現事業】							
事業名	石垣市民会館設備機能強化事業				沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-1-(4)-ウ 文化活動を支える基盤の形成	
担当部課名	企画部	観光文化課	事業実施年度	平成25 ~ 平成29 年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ-1-(1)	
事業内容	市民が質の高い文化芸術公演に触れる機会の確保を図るため、石垣市民会館大ホール舞台機構の機能強化を行う。						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他( )						
事業期間中の 予算額・執行額 【単位:千円】		H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	合計	
	A. 予算現額	205,976	20,291	18,826		245,093	
	B. 執行済額	187,675	7,560	18,667		213,902	
	うち 交付金充当額	150,140	6,048	14,933		171,121	
	執行率(%) (B/A)	91.1%	37.3%	99.2%		87.3%	
執行状況の説明	事業計画どおり執行した。						
事業期間中の 活動目標	活動目標(指標)	達成状況					
	石垣市民会館音響設備及び照明設備の機能強化	目標	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度
		実績	機能強化実施				
		目標					
実績							
事業期間中の 成果目標	成果目標(指標)	進捗状況					
	石垣市民会館音響設備及び照明設備の機能強化完了	目標	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度
		実績	完了				
		目標					
実績							

市町村名	石垣市
<b>沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【後年度発現事業】</b>	

**事業完了後の取り組み**

	成果目標(指標)	達成/進捗状況					R4年度 目標/発現年度
		R3年度	R4年度	R5年度	R6年度		
事業完了後の成果目標	<input type="checkbox"/> 中期にわたる事業効果 <input checked="" type="checkbox"/> 後年度に発現する事業効果						
	島外のイベント会社等が主催する公演数:5件	目 標	5件	5件			5件
		実 績	6件	7件			
		目 標					
実 績							
状況説明	<p>【R3年度】 ・石垣市民会館の大ホールでの島外主催者による公演は、6件開催された。</p> <p>【R4年度】 ・島外主催者による公演は大ホールでは7件、中ホールは10件開催された。</p>						

【完了後】事業効果等の確認 (施設利用状況、効果発現状況、外部環境の変化等)	【完了後】改善措置等の検討 (事業効果の更なる向上等)
<p>【R3年度】 ・市民会館の設備機能強化事業と、市独自の設備改修事業の実施により、島外イベント会社等の主催の大規模なコンサートや演劇等の開催をすることができた。これにより、普段、島内では観覧することができない文化芸術作品に市民が触れる機会を確保できた。</p> <p>【R4年度】 ・R4年度は、前半は新型コロナの影響もありイベントのキャンセル等もあったが、会館設備強化により昨年より多くのイベントが開催され、ミュージカルやクラシックコンサート等、日頃中々観覧出来ないイベントの開催ができた。</p>	<p>【R3年度】 ・機能強化された舞台設備によって、より高度な演出や舞台運営ができることを、島外のイベント会社等に広くアピールし、より多くの舞台公演をおこなってもらえるよう周知を図る。</p> <p>【R4年度】 ・機能強化された音響設備、舞台設備により、主催者の多様なニーズにあった演出等に対応できる事をPRし、舞台技術も強化していく。</p>

**今後の取り組み方針(関連・同種事業へのフィードバック等)**

<p>【R3年度】 ・機能強化された舞台設備の具体的な内容の周知を図り、より大掛かりな公演の開催等が可能であることを、島内外問わず多くの主催者にアピールすることにより、より多くの公演を開催していく。 また、これにより様々な分野の公演を開催し、それによって実績を重ねることにより、市民会館を、文化芸術に触れる機会を創出する施設として、文化活動の拠点として運営していく。</p> <p>【R4年度】 ・音響設備及び舞台設備の機能強化に加え、市単独で駐車場の改修工事を行い、収容台数が大幅に向上した。ミュージカルやクラシックコンサート等、離島では触れることの少ない芸術、文化に親しむ機会を創出し、文化活動の拠点となるよう、様々なニーズに対応していく。</p>
--

市町村名		石垣市					
沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【後年度発現事業】							
事業名	観光施設及びキャンプ場誘客整備事業				沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(2)-イ 市場特性に対応した誘客活動の展開	
担当部課名	建設部	施設管理課	事業実施年度	平成27 ~ 令和2 年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ-1-(1)	
事業内容	観光施設利用者の利便性を確保するため、便益施設の整備、機能強化を行う。						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他( )						
事業期間中の予算額・執行額【単位:千円】		R1年度	R1年度(繰越)	R2年度	R2年度(繰越)	合計	
	A. 予算現額	186,286	120,838	57,383	39,467	403,974	
	B. 執行済額	39,767	119,786	17,917	0	177,470	
	うち 交付金充当額	31,813	95,829	14,333	0	141,975	
	執行率(%) (B/A)	21.3%	99.1%	31.2%	0.0%	43.9%	
執行状況の説明	繰越については、平久保灯台駐車場整備に向けた用地取得にあたり、地権者との調整に不測の日数を要したことから、年度内の完了が困難となったため、翌年度に繰越した。 繰越後の不用については、新型コロナウイルス感染拡大による緊急事態宣言等の影響に伴い、整備地の用地取得に係る地権者との交渉等を進めることができない期間が発生し、さらに施設整備箇所の見直しにより、用地取得までに不測の日数を要することとなったため、年度内完了が困難となったことによるものである。						
事業期間中の活動目標	活動目標(指標)		達成状況				
			H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度
	底地海水浴場の実施設計	目標				実施	
		実績				実施	
	平久保灯台駐車場用地の取得	目標				完了	
		実績				未完了	
	玉取崎展望台の利便施設及び園路の整備の実施	目標			実施		
		実績			実施		
	平久保灯台駐車場の実施設計の実施	目標			実施		
		実績			実施		
	玉取崎展望台利便施設設計業務の実施	目標	実施				
		実績	実施				
	平久保灯台駐車場に係る基本設計業務の実施	目標	実施				
		実績	実施				

<b>市町村名</b>	<b>石垣市</b>
<b>沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【後年度発現事業】</b>	

事業期間中の 成果目標	成果目標(指標)	進捗状況					
		H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度	
	底地海水浴場の実施設計完了	目標				完了	
		実績				完了	
	平久保灯台駐車場用地の取得完了	目標				完了	
		実績				未完了	
	玉取崎展望台の利便施設及び園路の整備の実施完了	目標			完了		
		実績			完了		
	平久保灯台駐車場の実施設計の実施完了	目標			完了		
		実績			完了		
	玉取崎展望台利便施設設計業務の完了	目標	完了				
		実績	完了				
	平久保灯台駐車場に係る基本設計業務の完了	目標	完了				
		実績	完了				

**事業完了後の取り組み**

事業完了後の 成果目標	成果目標(指標)	達成/進捗状況				
		R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R4年度 目標/発現年度
	<input type="checkbox"/> 中期にわたる事業効果 <input checked="" type="checkbox"/> 後年度に発現する事業効果					
	底地海水浴場及び平久保灯台の利便性が確保されたか(80%以上)を含め、当該施設のあり方をアンケートで検証する。	目標			80%	80%
	実績				-	
状況説明	・底地海水浴場の実施設計後、現時点で工事未着手である。 ・予定していた平久保灯台駐車場の用地取得へ向けて交渉を重ねてきたが、現在も取得に至っていない。 アンケートについては未実施である。					

【完了後】事業効果等の確認 (施設利用状況、効果発現状況、外部環境の変化等)	【完了後】改善措置等の検討 (事業効果の更なる向上等)
・底地海水浴場については、R2年度の実施設計後、現時点では工事着手にいたっていない。市内の他キャンプ施設(海水浴場)が閉鎖しており、海の入浴客が当該海水浴場に流れることや、コロナ禍明けの観光客の増加も見込まれるため、今後、底地海水浴場の利用者は増加していくと考えられる。  ・平久保灯台駐車場については、地権者と交渉を重ねてきたが、現時点では用地取得にいたっていない。新型コロナウイルス感染症対策が緩和されてきており、観光客の増加も見込まれるため、駐車場不足の早期解消が求められる。	・底地海水浴場については、干潮時の利便性向上のため、浚渫工事の実施を検討していく。  ・平久保灯台駐車場については、当初予定していた土地の地権者との交渉は困難な状況であるため、整備予定地を変更する必要がある。

**今後の取り組み方針(関連・同種事業へのフィードバック等)**

・底地海水浴場については、市民や観光客の利便性確保のため、海水浴場としての機能を維持、向上できるような取組について検討していく。  ・平久保灯台駐車場整備の着手に向け、当初の予定地を変更し引き続き地権者との用地交渉を重ねる。駐車場不足の解消により、市民及び観光客の利便性向上を図る。
---

市町村名	石垣市						
沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【後年度発現事業】							
事業名	明石地区避難道路整備事業			沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第3章-2-(4)-イ 災害に強い県土づくりと防災体制 の強化		
担当部課名	建設部	都市建設課	事業実施 年度	令和 元 年度	沖縄振興基本方針 該当箇所	Ⅲ-10-(2)	
事業内容	災害時の市民や観光客等の安全を確保するため、津波避難道路を整備する。						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他( )						
事業期間中 の予算額 ・執行額 【単位:千円】		R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	合計	
	A. 予算現額	7,650				7,650	
	B. 執行済額	7,377				7,377	
	うち 交付金充当額	5,901				5,901	
	執行率(%) (B/A)	96.4%				96.4%	
執行状況の説明	事業計画どおり執行した。						
事業期間中の 活動目標	活動目標(指標)	達成状況					
	測量設計業務及び道路整備工事の実施	目標	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
		実績	実施				
事業期間中の 成果目標	成果目標(指標)	進捗状況					
	測量設計業務及び道路整備工事の完了	目標	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
		実績	完了				

市町村名	石垣市
<b>沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【後年度発現事業】</b>	

**事業完了後の取り組み**

	成果目標(指標)	達成/進捗状況				
		R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R2年度 目標/発現年度
<b>事業完了後の成果目標</b>	<input type="checkbox"/> 中期にわたる事業効果 <input checked="" type="checkbox"/> 後年度に発現する事業効果					
	整備された避難経路を活用した避難訓練(1回以上/年)を実施する中で、安心安全に避難できたか等を含め参加者に対してヒアリングを実施することにより、本事業のあり方について検証する。	目 標	1回以上	1回以上	1回以上	1回以上
		実 績	-	-	1回	-
	<参考指標> 地区住民へのアンケート調査を実施し整備前と比較して同避難経路を活用し避難すると回答した世帯の増加割合を検証する。	目 標	20.0%	20.0%		20.0%
		実 績	42.9%	64.3%		42.9%
	状 況 説 明	<p>【R2年度】 ・本事業で整備した避難経路については、避難訓練を通じて検証していくこととしていたが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響及び同感染症拡大防止のための自粛等も重なり、予定していた避難訓練の実施には至っていない。</p> <p>&lt;参考指標&gt; ・予定していた避難訓練の実施には至っていないが、整備前の利用者14世帯に対し、整備後は同避難経路を活用すると回答した者20世帯で42.9%増と目標値を上回っている。</p> <p>【R3年度】 ・予定していた避難訓練の実施には至っていないが対象地区への周知の効果もあり、昨年同様のアンケートを実施した結果においても参考指標の実績値は昨年より上回っている(20世帯→23世帯)事から目標は達成しているものと思料する。</p> <p>【R4年度】 ・本事業で整備した避難経路については、本年度実施した避難訓練時に災害時の市民や観光客等の安全を確保するための避難経路として使用され、対象地区の人口114人に対し46人が使用した。避難した住民に対し、ヒアリングを実施した結果、全員から安全に避難することができたとの回答が得られたことから、目標は達成されたと思料する。</p>				

<b>【完了後】事業効果等の確認</b> (施設利用状況、効果発現状況、外部環境の変化等)	<b>【完了後】改善措置等の検討</b> (事業効果の更なる向上等)
--	---------------------------------------

<p>【R2年度】 ・避難経路について、避難訓練の実施には至っていないが、地域住民からは安心、安全に繋がっているとの意見がある。今後は、新型コロナウイルス感染症拡大が終息したのち、地域の意向等も踏まえた上で、避難訓練の実施及び地域防災活動の展開を図っていく必要がある。</p> <p>&lt;参考指標&gt; ・避難経路について、避難訓練の実施には至っていないが、整備後は同避難経路を活用し避難する住民が増加することが、アンケート調査結果より得られている。今後は、新型コロナウイルス感染症拡大が終息したのち、地域の意向等も踏まえた上で、避難訓練の実施及び地域防災活動の展開を図っていく必要がある。</p> <p>【R3年度】 ・避難経路について、昨年に引続きコロナ禍により訓練の実施には至っていないが、対象地区への周知効果もあり避難経路整備後の同避難経路を活用し避難すると回答した世帯数が前年度と比べて大幅に増加している。</p> <p>【R4年度】 ・避難経路について、今年度、避難訓練を実施。対象地区への周知効果もあり避難経路整備後の同避難経路を活用し避難している事が確認出来た。</p>	<p>【R2年度】 ・今後の避難訓練では、整備した避難経路を活用することによって、避難に要する時間や避難できる人数にどのような変化等があったかを参加者に対してヒアリングを実施していくとともに、避難経路について周知していく必要がある。</p> <p>&lt;参考指標&gt; ・今後の避難訓練では、整備した避難経路を活用することによって、避難に要する時間や避難できる人数にどのような変化等があったかを参加者に対して再度アンケート調査を実施していくとともに、避難経路について周知していく必要がある。</p> <p>【R3年度】 ・避難経路の周知については、対象地区の住民へは周知が図られたことから今後は市民や観光客等への周知が必要である。</p> <p>【R4年度】 ・避難経路の周知については、対象地区の住民へは周知が図られたことから今後は市民や観光客等への周知が必要である。</p>
--	---

**今後の取り組み方針(関連・同種事業へのフィードバック等)**

<p>【R2年度】 ・避難訓練については、実施できる時期や内容等を検討していくこととする。併せて、市民や観光客等に避難経路の周知を図るため、市公式ホームページやハザードマップ等を活用し、情報発信に取り組んでいくこととする。</p> <p>【R3年度】 ・避難訓練については、石垣市民防災訓練が毎年4月最終週の日曜日の実施となっていることから、引き続き、市公式ホームページやハザードマップ等を活用し、情報発信に取り組むこととする。</p> <p>【R4年度】 ・避難訓練については、石垣市民防災訓練が毎年4月最終週の日曜日の実施となっていることから、引き続き、市公式ホームページやハザードマップ等を活用し、情報発信に取り組むこととする。</p>
---

市町村名	石垣市
------	-----

**沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【後年度発現事業】**

<b>事業名</b>	八重山博物館所蔵資料修復及び整理・活用事業			<b>沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所</b>	第3章-1-(4)-ア 沖縄の文化の源流を確認できる環境づくり
<b>担当部課名</b>	教育部	博物館	<b>事業実施年度</b>	平成24 ~ 令和3年度	<b>沖縄振興基本方針該当箇所</b> Ⅲ-1-(1)

**事業内容**  
歴史の継承および観光資源として活用し、誘客を図ることを目的として、虫食いや退色等により状態の良くない古文書・絵画等を修復し展示等を行うとともに、修復した資料のデジタル化を行い、調査・研究等に活用する。

**実施方法** ■ 直接実施 ■ 委託 □ 補助 □ 負担 □ その他( )

事業期間中の 予算額・執行額 【単位:千円】		H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	合計
	A. 予算現額		6,000	6,006	10,286	3,151
B. 執行済額		5,997	5,995	10,213	3,140	25,345
	うち 交付金充当額	4,798	4,795	8,170	2,511	20,274
	執行率(%) (B/A)	100.0%	99.8%	99.3%	99.7%	99.6%
	執行状況の説明	事業計画通り執行した。				

事業期間中の 活動目標	活動目標(指標)	達成状況				
		H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度
新聞資料2点の修復及びデジタル化	目標		6件	12件	17件	2件
	実績		(6件)	(12件)	(17件)	(2件)
用地取得の実施	目標	2筆				
	実績	(2筆)				
レーザー測量の実施	目標	2地点				
	実績	(2地点)				
三番アコウの診断及び保護措置の実施	目標	実施				
	実績	(実施)				

事業期間中の 成果目標	成果目標(指標)	進捗状況				
		H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度
新聞資料2点の修復及びデジタル化	目標		6件	12件	17件	2件
	実績		(6件)	(12件)	(17件)	(2件)
用地取得の完了	目標	2筆				
	実績	(2筆)				
レーザー測量の完了	目標	2地点				
	実績	(2地点)				
保護措置による観光客の安産性確保の完了	目標	完了				
	実績	(完了)				

事業完了後の取り組み							
事業完了後の成果目標	成果目標(指標)		達成/進捗状況				
	<input type="checkbox"/> 中期にわたる事業効果 <input checked="" type="checkbox"/> 後年度に発現する事業効果		R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R4年度 目標/発現年度
	【R3成果目標】 令和2年度に修復した資料を活用した企画展を開催し、観覧者数250人以上を目指す。		目標			(250人)	
			実績			3,023人	
	【R4成果目標】 令和3年度に修復した資料を活用した企画展を開催し、観覧者数220人以上を目指す。		目標			(220人)	(220人)
		実績			1,276人		
状況説明	<p>【R3年度】 ・常設展の一部で修復した資料を展示し、新聞、市SNS等で呼びかけ公開した(令和3年10月1日から)。10月から3月にかけては、多くの入館者があった。また、関連した『冊子』の販売数も増加した。</p> <p>【R4年度】 ・50周年を記念した企画展『喜舎場永珣と資料展』で、これまでに修復した新聞資料の一部を展示した他、冊子『喜舎場永珣と資料』で紹介を行った。この企画展は10月23日～11月22日の間行われ、1,276人の来館があった。また、企画展終了後には、複写した新聞資料の一部を閲覧できるようにした他、当館が発刊している『紀要』での紹介も行った。</p>						
【完了後】事業効果等の確認 (施設利用状況、効果発現状況、外部環境の変化等)			【完了後】改善措置等の検討 (事業効果の更なる向上等)				
<p>【R3年度】 ・新型コロナウイルス感染症の影響を受け、施設を訪れる方は激減した。</p> <p>【R4年度】 ・開館50年の記念企画展に関連付けて資料の公開を行った他、刊行物等で紹介し公開を図った。</p>			<p>【R3年度】 ・新型コロナウイルス感染症の影響を受け、施設を訪れることなく閲覧できるようにデジタルでの公開が必要と考えられる。</p> <p>【R4年度】 ・企画展等では資料の一部しか公開できなかった。そのため、HP等での公開・活用、さらなる企画展等での公開を図ることにより、効果が継続されると考えられる。</p>				
今後の取り組み方針(関連・同種事業へのフィードバック等)							
<p>【R3年度】 ・今後、前年度に引き続き、資料を展示替えしながら公開・活用していくこととHP等でデジタル画像の公開を図ってきたい。</p> <p>【R4年度】 ・今後も継続し展示替えを行いながらの資料の公開、企画展等に関連させての公開、HP等での公開を図ってきたい。</p>							

市町村名		石垣市					
沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【後年度発現事業】							
事業名	防災体制整備事業				沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-2-(4)-イ 災害に強い県土づくりと防災体制の強化	
担当部署名	総務部	防災危機管理課	事業実施年度	平成24 ~ 令和2年度	沖縄振興基本方針該当箇所	III-10-(2)	
事業内容	災害時の市民や観光客等の安全を確保するため、令和4年度に無線アナログ放送が終了する防災行政無線設備のデジタル化移行工事を実施し、災害時の情報提供の確保や住民の避難、災害応急対応等の諸活動の円滑化を推進するための仕組みを整備する。						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他( )						
事業期間中の予算額・執行額【単位:千円】		H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	合計	
	A. 予算現額	29,925	6,000	149,518	141,329	326,772	
	B. 執行済額	29,762	5,658	140,631	138,691	314,742	
	うち 交付金充当額	23,809	4,525	112,504	110,952	251,790	
	執行率(%) (B/A)	99.5%	94.3%	94.1%	98.1%	96.3%	
執行状況の説明	R1年度は資材の納期遅延により翌年度に繰り越したものの、各年度とも事業計画どおり執行した。						
事業期間中の活動目標	活動目標(指標)	達成状況					
		R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	
	防災行政無線設備デジタル化移行工事の実施(17基)	目標	実施	実施			
		実績	実施	実施			
		目標					
		実績					
	目標						
	実績						
事業期間中の成果目標	成果目標(指標)	進捗状況					
		R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	
	防災行政無線設備デジタル化移行工事の完了(17基)	目標	完了	完了			
		実績	完了	完了			
		目標					
		実績					
	目標						
	実績						

市町村名 **石垣市**

**沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【後年度発現事業】**

**事業完了後の取り組み**

	成果目標(指標) □ 中期にわたる事業効果 ■ 後年度に発現する事業効果	達成/進捗状況					
		R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R3年度 目標/発現年度	
<b>事業完了後の成果目標</b>	平時の防災無線放送が確実に伝達されたか(100%)を、 防災行政無線等を活用した避難訓練への参加者に対するアンケートで検証	目標	100%	100%			100%
		実績	-	84.90%			
	目標						
	実績						

**状況説明**

【R3年度】  
・新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、住民参加型の避難訓練やそれに伴うアンケート調査による検証に至っていない。

【R4年度】  
・令和4年4月24日(日)石垣市民防災の日にあわせて、3年振りの市民防災訓練を実施した。市内各地に設置されている防災無線等を活用した情報伝達訓練では、訓練放送やサイレンにより多くの住民に一斉伝達することで迅速な避難に役立てた。

【完了後】事業効果等の確認 (施設利用状況、効果発現状況、外部環境の変化等)	【完了後】改善措置等の検討 (事業効果の更なる向上等)
---	--------------------------------

<p>【R3年度】 ・事業効果等を把握するにあたって、住民参加型の避難訓練等を踏まえて確認していくこととしているものの、新型コロナウイルス感染症の影響があることから、避難訓練等の実施を行えてない状況にある。</p> <p>【R4年度】 ・市民防災訓練に参加した住民を対象にアンケートを実施し、アンケート回答者のうち84.9%の方が防災無線がツールとして役立つと回答した。しかし、風向きなどの天候の影響や防災無線機器の性能の違いにより場所によっては聞きづらい部分が生じたことから目標未達成となった。</p>	<p>【R3年度】 ・新型コロナウイルス感染症の動向に注視しながら、可能な限り訓練を実施し、災害時の情報提供の確保や住民の避難、災害応急対応等の諸活動の円滑化を推進するための仕組みについて検証する必要がある。</p> <p>【R4年度】 ・防災無線の音達空白地域を改善するために新たな防災無線の新設および性能向上を図る。</p>
--	--

**今後の取り組み方針(関連・同種事業へのフィードバック等)**

【R3年度】  
・避難訓練については、新型コロナウイルス感染症拡大の状況を考慮しながら、防災無線等を活用した防災訓練及び訓練参加者に対する防災無線についてのアンケート調査を実施し、事業導入後の効果を検証する。

【R4年度】  
・防災無線等を活用した市民防災訓練において、訓練参加者に対する防災無線についてのアンケート調査を実施し、事業導入後の効果を検証する。